

# 最新BEST本

☆印は初登場!!

2001. 6.1~6.30

TTCネットワーク月間データ

(学参を除く小社全書籍の売れ数)

2001年は国際ボランティア年!

(提唱国は日本です!)

6月29日配本

これがボランティアだ!

森口秀志編  
NPO新時代を生きるために——  
10代から80代まで54人が語る  
大型インタビュー集ニッポンを元気にする  
ピープル・パワー  
国際ボランティア年記念出版!人はなぜボランティアをするのか?  
なぜ、子育て、環境、まちづくり……  
もう行政や企業にまかしてはいけない  
仲間との出会い、生きがい、感動、  
ゆたかな生き方を見つけた54人の物語人はなぜボランティア  
をするのか? きっかけは?  
どんな喜び、困難があるのか?  
10代から80歳を超えた世代  
までボランティアという生き方  
を選んだ人々がいきいきと語る!

これがボランティアだ!

ISBN 4-7949-6494-3

本体1100円

カラ・POPさいます! ご用命ください

国際ボランティア年記念出版

大型インタビュー集

カラ・POPさいます! ご用命ください

	書名	著者名	本体	配本日	前月順
↑ 1	普及版 数の悪魔	H.M.エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	2
↑ 2	できればムカつかずに生きたい	田口ランディ	1400円	00.10.11	3
↑ 3	科学は今どうなっているの?	池内 了	2200円	01.5.25	28
4	すべてきみに宛てた手紙	長田 弘	1800円	01.4.11	1
5	馬鹿な男ほど愛おしい	田口ランディ	1400円	00.5.31	4
↑ 6	がん患者学	柳原和子	2600円	00.7.7	12
7	もう消費すら快樂じゃない彼女へ	田口ランディ	1600円	99.12.17	7
↑ 8	考える練習をしよう	M.バーンズ	1650円	85.3月	10
9	思想する「からだ」	竹内敏晴	1800円	01.4.25	6
10	フクロウの不思議な生活	クリス・ミード	1900円	01.3.30	9
11	みんなイタリア語で話していた	岡本太郎	1800円	01.4.26	8
☆ 12	KGBの世界都市ガイド	元KGB	2840円	01.6.25	New
☆ 13	人生は博覧会 日本ランカイ屋列伝	橋爪紳也	2000円	01.5.25	New
14	軟弱者の言い分	小谷野敦	1600円	01.2.27	5
↑ 15	強迫性障害からの脱出	リー・ベアー	2200円	00.12.20	22
☆ 16	シーナ映画とコーキ映画	高間賢治	2000円	01.6.20	New
17	森の仕事と木遣り唄	山村基毅	2400円	01.4.18	17
18	誰も教えてくれない聖書の読み方	ケン・スミス	1800円	01.1.24	11
↑ 19	狂言じゃ、狂言じゃ!	茂山千之丞	1800円	00.11.6	43
20	ケアマネジャー基本問題集(上)	介護支援研究会編	1600円	00.8.25	18

あの大作家は「投書狂」だった!!

7月6日配本 ISBN 4-7949-6490-0

投書狂 グレアム・グリーン

クリスティー・ホトリー編 本体 3400円  
新井潤美 訳

投書狂  
グレアム・グリーン

クリスティー・ホトリー編 / 新井潤美 訳

GRUHAM GREENE

「飲むすぎるとつい、  
おかしい投書をしたくなるんだ」  
作家グレアム・グリーンは、  
生涯「第三の男」の作品により、  
世界情勢から日常まで45年間にわたる「投書」を遺した。

映画『第三の男』

『情事の終り』原作  
でも名高い20世紀  
英国を代表する大  
作家G.グリーンが  
残していた膨大な  
投書を集成!  
世界情勢から日常  
まで45年間にわ  
たる「投書」を遺した。

7月4日配本

アウトドアライフ  
は終わらない

田淵義雄 著

自然趣味を  
生涯楽しめる

アウトドアライフ  
は終わらない田淵義雄 著 本体1800円  
ISBN 4-7949-7558-9単なるブームでない本当の山暮らし  
の喜びと奥深さ。達人・田淵義雄  
が語る21世紀自然生活讃歌!品文社 これから  
でる本 7~8月

ウィリアム・モリス『アイスランドへの旅』

金森敦子『閑所抜け 江戸の女たちの冒険』

鹿島茂『解説屋稼業』(鹿島茂の「解説」書きは、  
真知勝負!)

黒崎政男『哲学者クロサキの写真論』

今一生『生きちやうし、死なない』

張競『美女とは何か——日中美人の文化史』

松田哲夫『印刷に恋して』

『子どもと大人でともに考えるフランスのシリーズ』(オルカ)

『お金としょうずにつまよう本』

『暴力から身を守る本』2点同時刊行!!

麵食いシマタの  
この店に行け!

★滑走路脇の芝文字が「さぬま」と読める  
高松空港にJASの一番機が「ガガ」と着陸する。  
さすが「うどん王国」だけのことはある。小麦粉  
の香りが迎い一面をおおっていた。(そんなわけな  
いか)今回は麵巡れの聖地を訪れる。したがって  
興奮をかくせない。空港でタクシーに乗るやいな  
や「運転手さん、この地にうどん屋は何軒あ  
ります?」「数えたことはないけど何千軒(!)  
じゃないですかね」とか「この道(空港から市内に  
向かう)の右側にある店はダメだよ、行くな左  
側」という情報は現地でしか聞けない。「最近  
はヒコキで高松にうどん食べに来るグループ  
が増えてね」とうれしそうに言う。今回われわれ  
は4人のグループである。そう思われても不思議  
ではない。「でもね行くな左側の店がいいよ」

セルフは製麺所が主に午前  
中だけセルフサービスでうどんを売る  
ところでネギは前の火から客が自  
分で抜いて自分で切るらしい。具の  
天ぷら類も自分で取ってつゆも自分でかけ会計  
は自己申告するという。しかも一杯が100円前後  
だったりして食費人には感動ものである。さらに  
さぬまうどん巡れは午前中に3軒廻るのが標準  
とのこと。懐を痛めず胃袋が膨れる。トキョーから  
の旅行機代なんか安い!と大見得を切る。しかし  
今回の4人はJ会の特約店訪問で来っしとした  
仕事である。少人数とはいえ団体でもある。スジェ  
ジュールに「うどん」の文字はない。午前中3店目の  
M書店CスペースのY店長に「今から向かいます、  
よろしかったら、われわれとうどんでもいかがでしょ  
うか?」と携帯連絡したら「いらっしゃるというこ  
とで満を持して今うどん食べてきちゃった」とのこと。  
まず一回目のうどん食の機会を逸す。スケジュール  
通り松山行き特急列車の車内販売の弁当

が昼食になりそうである。だが新装なった  
JR高松駅ビルで10分だけある。エエッと  
ばかり2階のうどん屋に期待しないで馬  
け二む。生醤油ぶっかけうどん600円ナリ。  
やはり期待しないで正解。讃岐の特急  
列車なら車内販売にあたたかいうどんがあ  
るかもしれない。が、あるわけがない。  
仲間内の1名は「食い直した」と車中で駅弁  
をペロリとたいらげた。さぬまうどん何千軒  
(?)の中の一軒はまさに一期一会だが最良の  
それに程遠い選択をしてしまう。ここで  
さぬまうどんの95%がオーストラリア産小麦  
粉使用の事実が当局は遺憾の意を表し、  
本年より地元で小麦増産せよと1100パ  
をかけたらしい。と元KGBを名乗るひと  
から耳打ちされた。(元KGBのくだりのみ  
聞魔大王に舌を抜かれるかも)  
【営業部・島田孝久】